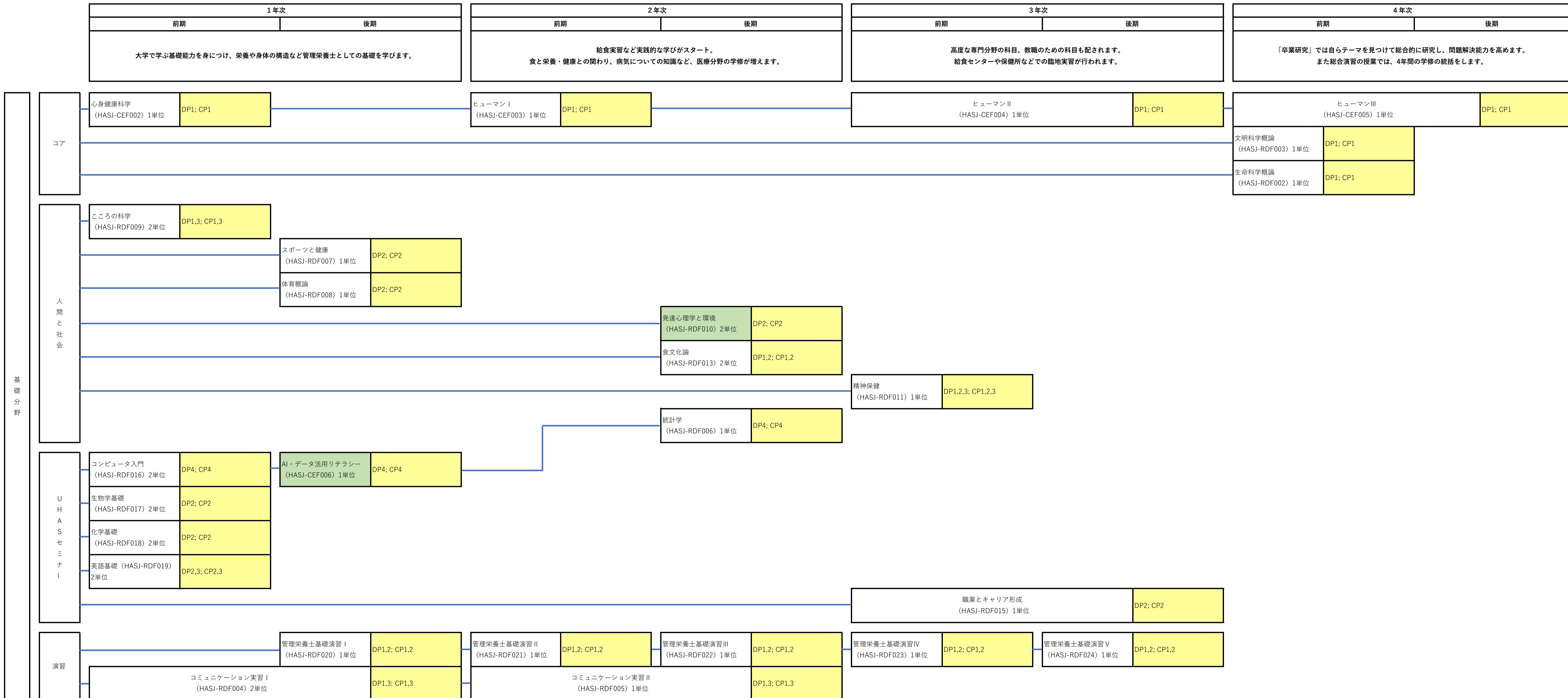


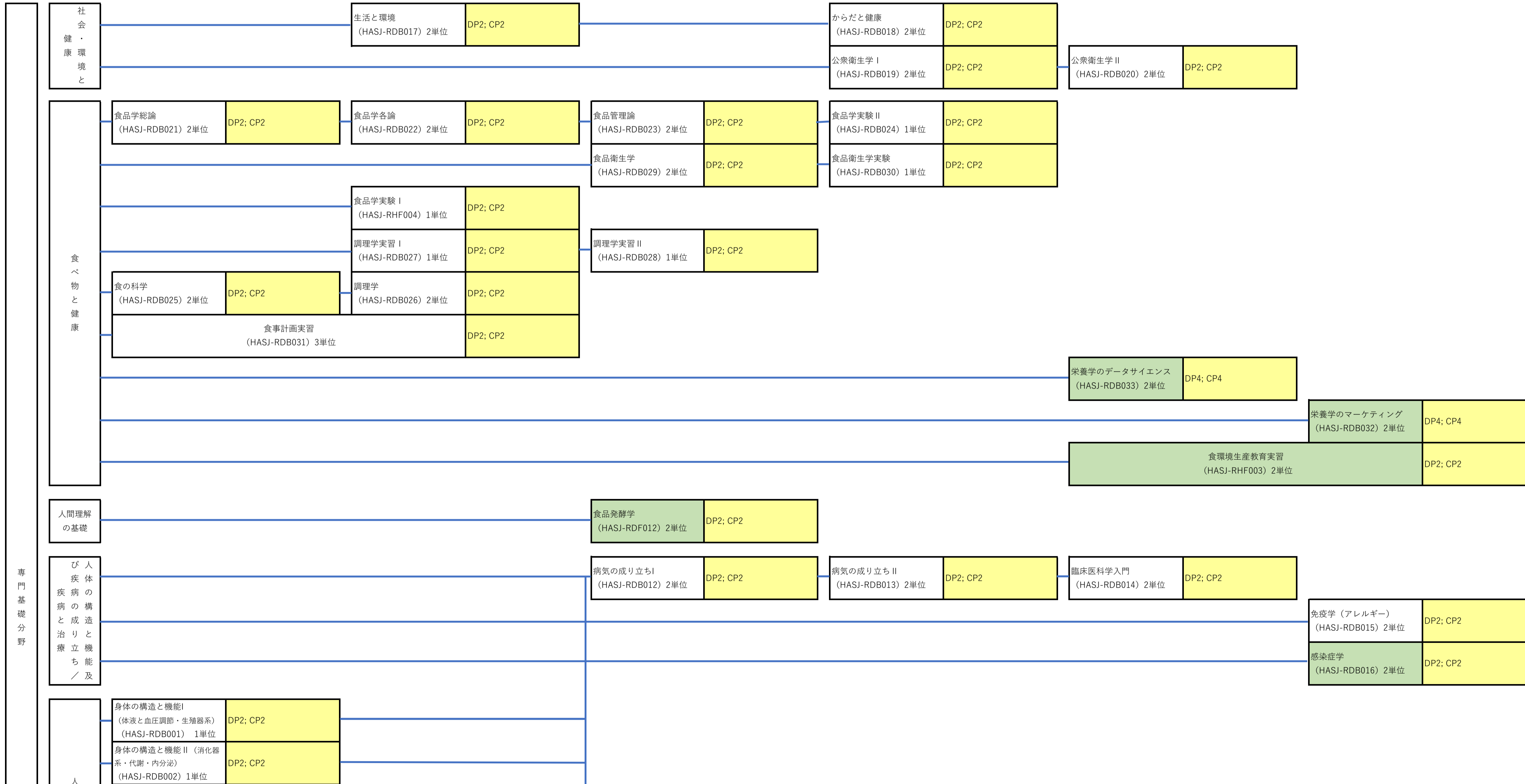
人間総合科学大学 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)	人間科学部 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)	健康栄養学科 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)
人間総合科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。 1. 全学共通のコア科目を通したリベラル アーツ教育 ・現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感力、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性 ・社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーションなどの資質 2. 専攻する学部・学科の専門科目を通した医療・健康・食・栄養の専門職教育 ・専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得 ・社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス (リテラシーレベル) の基礎力	人間科学部では、人間の総合的な理解を基に、人々の健康に関する多様な職業について、自立と共生の精神をもって自身のキャリアを形成できる能力を身につけたものに学位を与える。 各学科のディプロマ・ポリシーで具体的に示されている ①知識・技能、②汎用的技能、③態度・志向性、④総合的な学修経験と創造的思考力を身につけたものに学位を授与する。	健康栄養学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与する。 1. 人間と社会の諸側面について幅広い知識を持ち、健康が心理・環境・社会的側面と密接に関わることを理解していること 2. 現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身につけていること 3. 管理栄養士として他職種の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーションスキルを身につけていること 4. AI/データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を社会や職場で活用できる能力を身につけていること
人間総合科学大学 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)	人間科学部 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)	健康栄養学科 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)
人間総合科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。 1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る	人間科学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する。 1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る	健康栄養学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下の方針のもと、教育課程を編成する。 1. 人間と社会の諸側面について幅広い知識を身につけるための基礎科目を設ける 2. 現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身につけるための専門基礎、専門科目を設ける 3. 管理栄養士として必要なコミュニケーションスキルを身につけ、他者との協働によって学びを深め、学生の主体的な成長を促すための実習・演習科目を設ける 4. AI/データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を社会や職場で活用できる能力を身につけるための科目を設ける



必須科目	選択科目
------	------

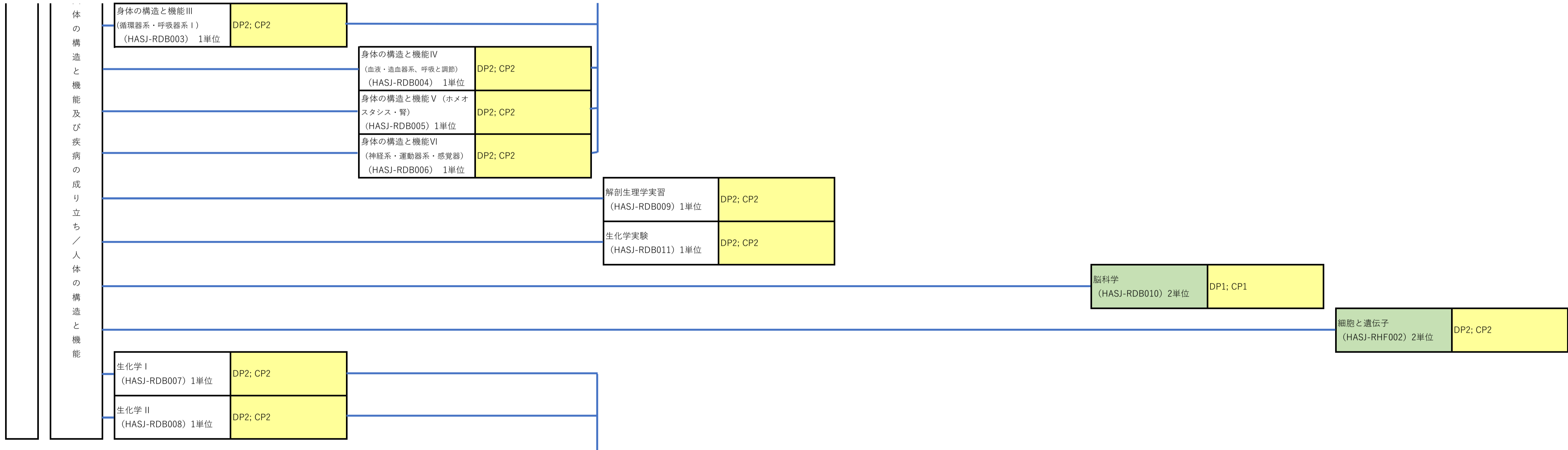
<p>人間総合科学大学 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 人間総合科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>1. 全学共通のコア科目を通したリベラル アーツ教育 ・現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感性、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性 ・社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質</p> <p>2. 専攻する学部・学科の専門科目を通した医療・健康・食・栄養の専門職教育 ・専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得 ・社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス (リテラシーレベル) の基礎力</p>	<p>人間科学部 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 人間科学部では、人間の総合的な理解を基に、人々の健康に関する多様な職業について、自立と共生の精神をもって自身のキャリアを形成できる能力を身につけたものに学位を与える。各学科のディプロマ・ポリシーで具体的に示されている ①知識・技能、②汎用的技能、③態度・志向性、④総合的な学修経験と創造的思考力を身につけたものに学位を授与する。</p>	<p>健康栄養学科 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 健康栄養学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与する。</p> <p>1. 人間と社会の諸側面について幅広い知識を持ち、健康が心理・環境・社会的側面と密接に関わることを理解していること 2. 現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身につけていること 3. 管理栄養士として他職種の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーションスキルを身につけていること 4. AI/データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を社会や職場で活用できる能力を身につけていること</p>
<p>人間総合科学大学 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 人間総合科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <p>1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る</p>	<p>人間科学部 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 人間科学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <p>1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る</p>	<p>健康栄養学科 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 健康栄養学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下の方針のもと、教育課程を編成する。</p> <p>1. 人間と社会の諸側面について幅広い知識を身につけるための基礎科目を設ける 2. 現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身につけるための専門基礎、専門科目を設ける 3. 管理栄養士として必要なコミュニケーションスキルを身につけ、他者との協働によって学びを深め、学生の主体的な成長を促すための実習・演習科目を設ける 4. AI/データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を社会や職場で活用できる能力を身につけるための科目を設ける</p>

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学で学ぶ基礎能力を身につけ、栄養や身体構造など管理栄養士としての基礎を学びます。		給食実習など実践的な学びがスタート。食と栄養・健康との関わり、病気についての知識など、医療分野の学修が増えます。		高度な専門分野の科目、教職のための科目も配されます。給食センターや保健所などでの臨地実習が行われます。		「卒業研究」では自らテーマを見つけて総合的に研究し、問題解決能力を高めます。また総合演習の授業では、4年間の学修の統括をします。	



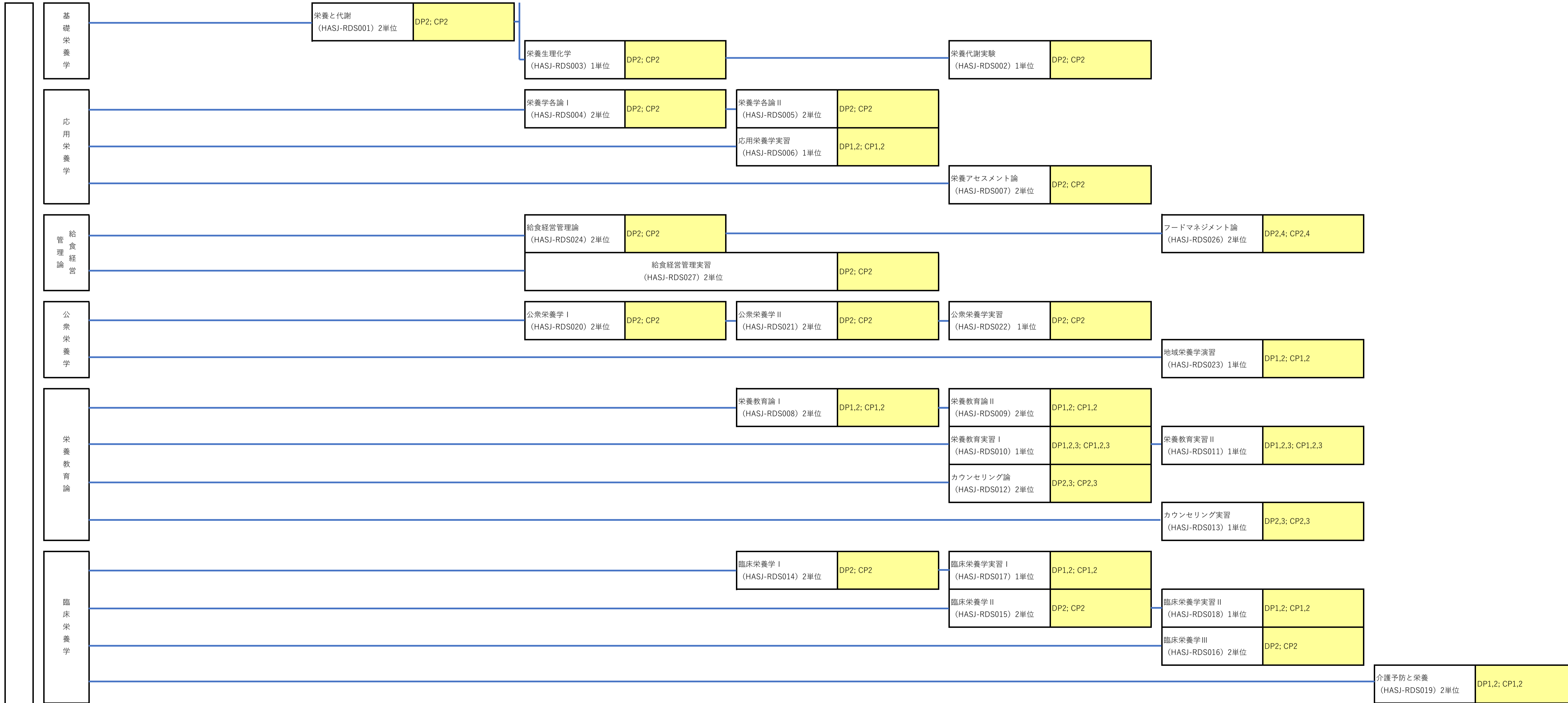
<p>人間総合科学大学 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 人間総合科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>1. 全学共通のコア科目を通したリベラル アーツ教育 ・現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感性、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性 ・社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーションなどの資質</p> <p>2. 専攻する学部・学科の専門科目を通した医療・健康・食・栄養の専門職教育 ・専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得 ・社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス (リテラシーレベル) の基礎力</p>	<p>人間科学部 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 人間科学部では、人間の総合的な理解を基に、人々の健康に関する多様な職業について、自立と共生の精神をもって自身のキャリアを形成できる能力を身につけたものに学位を与える。各学科のディプロマ・ポリシーで具体的に示されている ①知識・技能、②汎用的技能、③態度・志向性、④総合的な学修経験と創造的思考力を身につけたものに学位を授与する。</p>	<p>健康栄養学科 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 健康栄養学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与する。 1. 人間と社会の諸側面について幅広い知識を持ち、健康が心理・環境・社会的側面と密接に関わることを理解していること 2. 現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身につけていること 3. 管理栄養士として他職種の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーションスキルを身につけていること 4. AI/データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を社会や職場で活用できる能力を身につけていること</p>
<p>人間総合科学大学 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 人間総合科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <p>1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る</p>	<p>人間科学部 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 人間科学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <p>1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る</p>	<p>健康栄養学科 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 健康栄養学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下の方針のもと、教育課程を編成する。 1.人間と社会の諸側面について幅広い知識を身につけるための基礎科目を設ける 2.現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身につけるための専門基礎、専門科目を設ける 3.管理栄養士として必要なコミュニケーションスキルを身につけ、他者との協働によって学びを深め、学生の主体的な成長を促すための実習・演習科目を設ける 4.AI/データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を社会や職場で活用できる能力を身につけるための科目を設ける</p>

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学で学ぶ基礎能力を身につけ、栄養や身体構造など管理栄養士としての基礎を学びます。		給食実習など実践的な学びがスタート。 食と栄養・健康との関わり、病気についての知識など、医療分野の学修が増えます。		高度な専門分野の科目、教職のための科目も配されます。 給食センターや保健所などでの臨地実習が行われます。		「卒業研究」では自らテーマを見つけて総合的に研究し、問題解決能力を高めます。 また総合演習の授業では、4年間の学修の統括をします。	



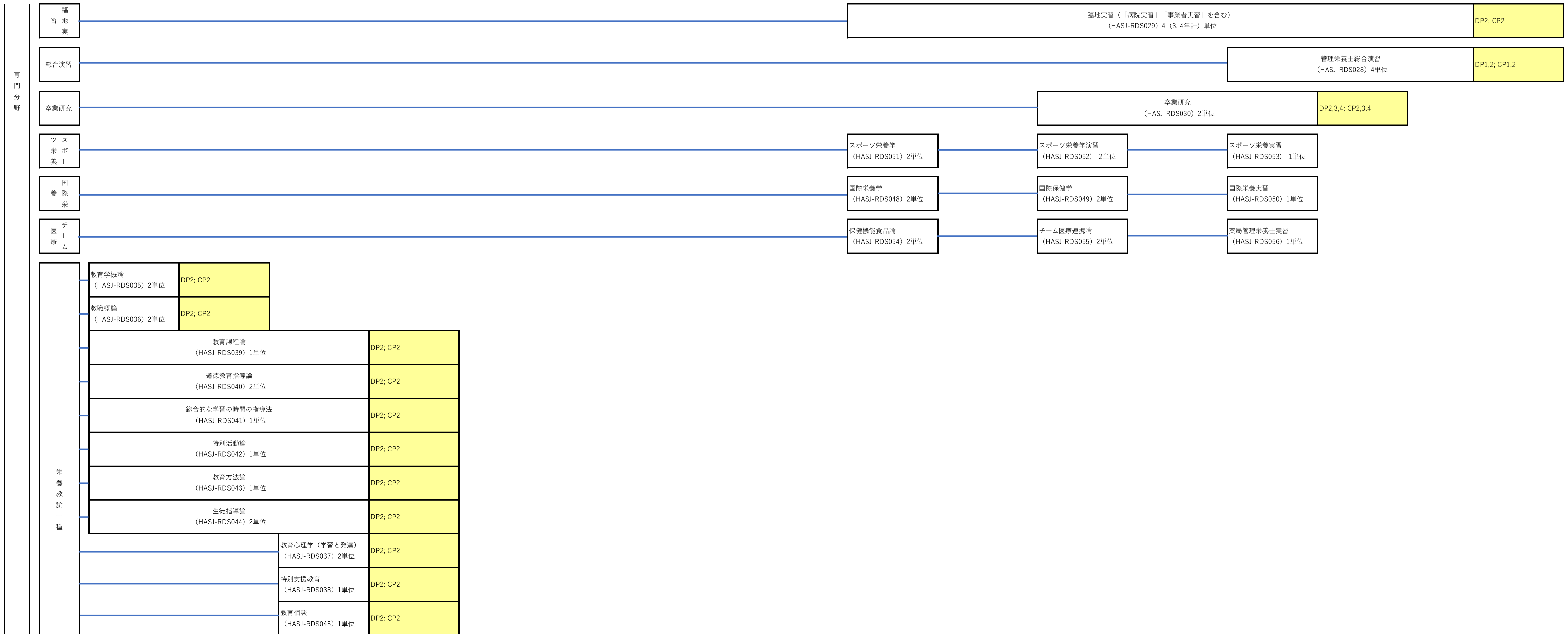
<p>人間総合科学大学 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 人間総合科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全学共通のコア科目を通したリベラル アーツ教育 <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感性、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性 ・社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーションなどの資質 2. 専攻する学部・学科の専門科目を通した医療・健康・食・栄養の専門職教育 <ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得 ・社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス (リテラシーレベル) の基礎力 	<p>人間科学部 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 人間科学部では、人間の総合的な理解を基に、人々の健康に関する多様な職業について、自立と共生の精神をもって自身のキャリアを形成できる能力を身につけたものに学位を与える。各学科のディプロマ・ポリシーで具体的に示されている ①知識・技能、②汎用的技能、③態度・志向性、④総合的な学修経験と創造的思考力を身につけたものに学位を授与する。</p>	<p>健康栄養学科 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 健康栄養学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と社会の諸側面について幅広い知識を持ち、健康が心理・環境・社会的側面と密接に関わることを理解していること 2. 現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身につけていること 3. 管理栄養士として他職種の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーションスキルを身につけていること 4. AI/データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を社会や職場で活用できる能力を身につけていること
<p>人間総合科学大学 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 人間総合科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る 	<p>人間科学部 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 人間科学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る 	<p>健康栄養学科 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 健康栄養学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下の方針のもと、教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と社会の諸側面について幅広い知識を身につけるための基礎科目を設ける 2. 現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身につけるための専門基礎、専門科目を設ける 3. 管理栄養士として必要なコミュニケーションスキルを身につけ、他者との協働によって学びを深め、学生の主体的な成長を促すための実習・演習科目を設ける 4. AI/データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を社会や職場で活用できる能力を身につけるための科目を設ける

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学で学ぶ基礎能力を身につけ、栄養や身体構造など管理栄養士としての基礎を学びます。		給食実習など実践的な学びがスタート。 食と栄養・健康との関わり、病気についての知識など、医療分野の学修が増えます。		高度な専門分野の科目、教職のための科目も配されます。 給食センターや保健所などでの臨地実習が行われます。		「卒業研究」では自らテーマを見つけて総合的に研究し、問題解決能力を高めます。 また総合演習の授業では、4年間の学修の統合をします。	



人間総合科学大学 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)	人間科学部 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)	健康栄養学科 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)
人間総合科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。 1. 全学共通のコア科目を通したリベラル アーツ教育 ・現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感性、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性 ・社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質 2. 専攻する学部・学科の専門科目を通した医療・健康・食・栄養の専門職教育 ・専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得 ・社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス (リテラシーレベル) の基礎力	人間科学部では、人間の総合的な理解を基に、人々の健康に関する多様な職業について、自立と共生の精神をもって自身のキャリアを形成できる能力を身につけたものに学位を与える。 各学科のディプロマ・ポリシーで具体的に示されている ①知識・技能、②汎用的技能、③態度・志向性、④総合的な学修経験と創造的思考力を身につけたものに学位を授与する。	健康栄養学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与する。 1. 人間と社会の諸側面について幅広い知識を持ち、健康が心理・環境・社会的側面と密接に関わることを理解していること 2. 現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身につけていること 3. 管理栄養士として他職種の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーションスキルを身につけていること 4. AI/データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を社会や職場で活用できる能力を身につけていること
人間総合科学大学 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)	人間科学部 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)	健康栄養学科 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)
人間総合科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。 1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る	人間科学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する。 1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る	健康栄養学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下の方針のもと、教育課程を編成する。 1.人間と社会の諸側面について幅広い知識を身につけるための基礎科目を設ける 2.現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身につけるための専門基礎、専門科目を設ける 3.管理栄養士として必要なコミュニケーションスキルを身につけ、他者との協働によって学びを深め、学生の主体的な成長を促すための実習・演習科目を設ける 4.AI/データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を社会や職場で活用できる能力を身につけるための科目を設ける

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学で学ぶ基礎能力を身につけ、栄養や身体構造など管理栄養士としての基礎を学びます。		給食実習など実践的な学びがスタート。食と栄養・健康との関わり、病気についての知識など、医療分野の学修が増えます。		高度な専門分野の科目、教職のための科目も配されます。給食センターや保健所などの臨地実習が行われます。		「卒業研究」では自らテーマを見つけて総合的に研究し、問題解決能力を高めます。また総合演習の授業では、4年間の学修の統括をします。	



<p>人間総合科学大学 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 人間総合科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>1. 全学共通のコア科目を通したリベラル アーツ教育 ・現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感力、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性 ・社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質</p> <p>2. 専攻する学部・学科の専門科目を通した医療・健康・食・栄養の専門職教育 ・専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得 ・社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス (リテラシーレベル) の基礎力</p>	<p>人間科学部 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 人間科学部では、人間の総合的な理解を基に、人々の健康に関する多様な職業について、自立と共生の精神をもって自身のキャリアを形成できる能力を身につけたものに学位を与える。各学科のディプロマ・ポリシーで具体的に示されている ①知識・技能、②汎用的技能、③態度・志向性、④総合的な学修経験と創造的思考力を身につけたものに学位を授与する。</p>	<p>健康栄養学科 ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針) 健康栄養学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与する。</p> <p>1. 人間と社会の諸側面について幅広い知識を持ち、健康が心理・環境・社会的側面と密接に関わることを理解していること 2. 現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身につけていること 3. 管理栄養士として他職種の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーションスキルを身につけていること 4. AI/データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を社会や職場で活用できる能力を身につけていること</p>
<p>人間総合科学大学 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 人間総合科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <p>1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る</p>	<p>人間科学部 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 人間科学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <p>1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る 2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る 3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る 4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う 5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を得る</p>	<p>健康栄養学科 カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針) 健康栄養学科では、「人間の総合的理解」「心身相関の理解」を踏まえて以下の方針のもと、教育課程を編成する。</p> <p>1.人間と社会の諸側面について幅広い知識を身につけるための基礎科目を設ける 2.現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身につけるための専門基礎、専門科目を設ける 3.管理栄養士として必要なコミュニケーションスキルを身につけ、他者との協働によって学びを深め、学生の主体的な成長を促すための実習・演習科目を設ける 4.AI/データサイエンスの基礎力 (リテラシーレベル) を社会や職場で活用できる能力を身につけるための科目を設ける</p>

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学で学ぶ基礎能力を身につけ、栄養や身体の構造など管理栄養士としての基礎を学びます。		給食実習など実践的な学びがスタート。 食と栄養・健康との関わり、病気についての知識など、医療分野の学修が増えます。		高度な専門分野の科目、教職のための科目も配されます。 給食センターや保健所などの臨地実習が行われます。		「卒業研究」では自らテーマを見つけて総合的に研究し、問題解決能力を高めます。 また総合演習の授業では、4年間の学修の統括をします。	

学校栄養指導論Ⅰ (HASJ-RDS031) 2単位	DP2; CP2	学校栄養指導論Ⅱ (HASJ-RDS032) 2単位	DP2; CP2					
				栄養教育実習 (HASJ-RDS033) 2単位	DP2; CP2			
				教職実践演習 (HASJ-RDS034) 2単位	DP2; CP2			
				国際研修 (HASJ-CES001) 1単位				DP3; CP3
				ボランティア活動 (HASJ-CES002) 1単位				DP3; CP3
共通科目								